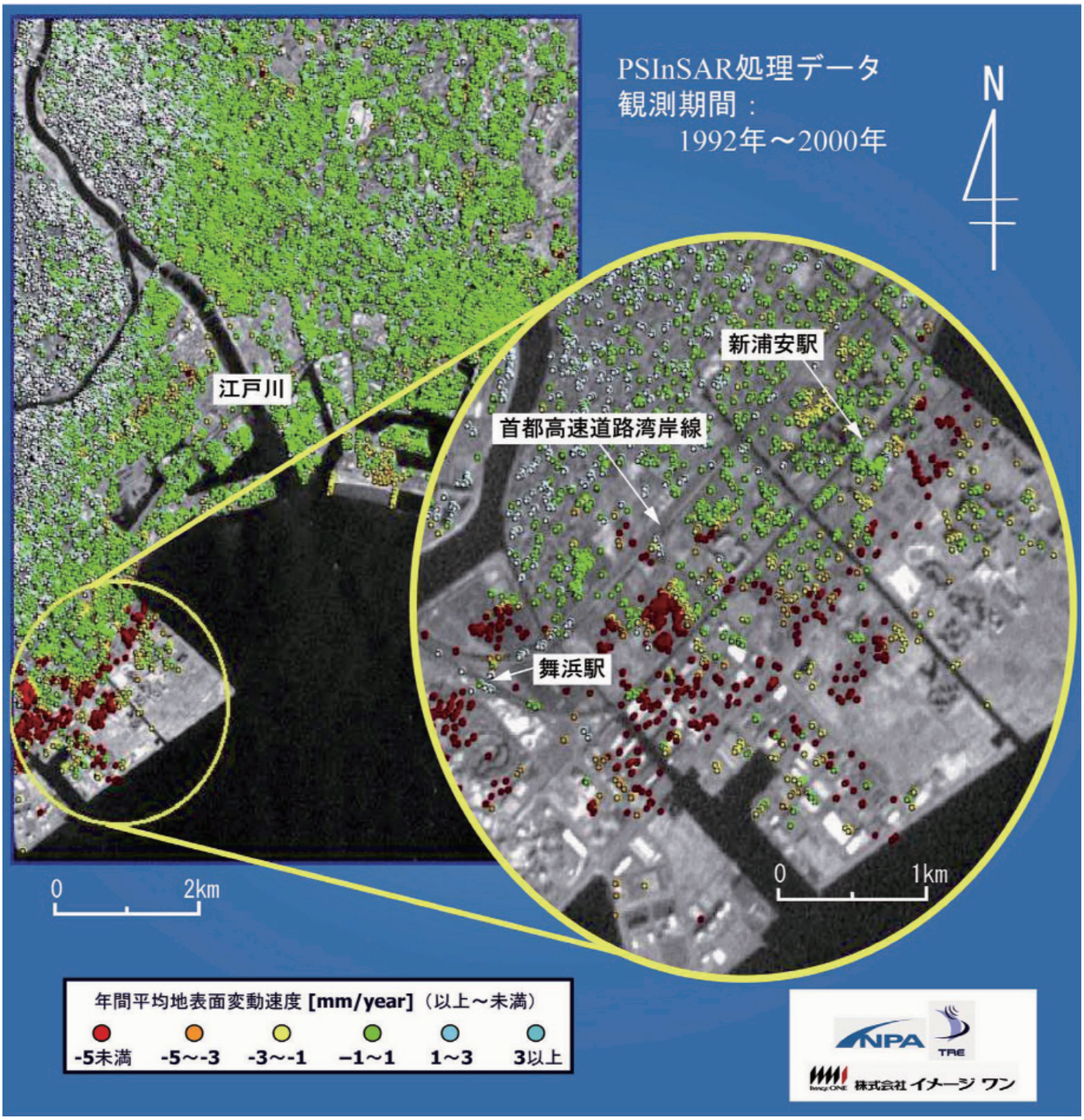
PSInSAR技術による地表面変動の計測（2）－浦安市周辺－

データ提供：株式会社イメージワン
データ編集：東京理科大学・国土情報工学研究会

下図は千葉県浦安市周辺の「年間平均地表面変動速度（mm／year）、1992年～2000年」を画像化したものです。前掲の画像と同様に人工衛星ERS（1号、2号）によって観測されたSARデータを使用しています。背景画像に高分解能衛星を用いました。建物単位での地盤変動の調査・分析が可能となります。首都高速道路湾岸線の北西側と南東側を見ると、年間平均地表面変動速度に違いがあることが読み取れます。また、下図からもわかるとおり、計測点ごと（図中、着色箇所）に地盤沈下傾向を時系列的に調査・分析できることが、PSInSAR技術のもう一つの特色となります。建設現場における周辺地盤高の時系列変化計測など、建設分野は言うまでもなく、PSInSAR技術の利用分野の開拓が期待されています。